

miratap



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ミラタップ

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <https://www.miratap.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	4,156	3.3	△205	-	△192	-	△147	-
2024年9月期第1四半期	4,023	7.4	265	△3.8	259	△4.1	169	△0.9

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 △146百万円 (-%) 2024年9月期第1四半期 167百万円 (△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	△8.02	-
2024年9月期第1四半期	9.27	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期第1四半期	10,186	3,256	30.5	169.23
2024年9月期	9,357	3,574	36.8	187.31

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 3,107百万円 2024年9月期 3,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2025年9月期	-	-	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2025年9月期の配当予想については未定です。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	14.7	100	△88.0	80	△90.0	56	△91.2	3.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年9月期1Q	19,228,800株	2024年9月期	19,228,800株
2025年9月期1Q	869,025株	2024年9月期	869,025株
2025年9月期1Q	18,359,775株	2024年9月期1Q	18,312,575株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2025年9月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用が改善し、名目賃金が増加する中で、物価高による実質賃金の低迷で弱含んでいた個人消費は徐々に下げ止まっており、足元では持ち直しの動きがみられるものの、米中の貿易摩擦が再燃する懸念や地政学リスクの高まりなど、海外を中心に景気に対する不確定要素が多いうえ、日本銀行の利上げ、物価上昇を背景とした消費者マインドの悪化、実質購買力の低下による個人消費の落ち込み、人手不足による供給制約など景気下振れ要因も多く、景気が減速するリスクは残っております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が減少傾向となっていることに加え、建設コストの上昇や金利上昇の不透明感などが住宅需要を抑制する状況が継続すると想定され、引き続き厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度を中長期経営計画の飛躍期初年度と位置づけ、2024年10月1日の社名変更を機に一気に認知度を拡大することで、事業の拡大、投資の収益化を行い、長期ビジョンを完遂することを目指し、国内事業の収益基盤強化、海外事業の成長拡大、新事業の拡大、経営基盤の強化に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,156百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失205百万円（前年同四半期は営業利益265百万円）、経常損失192百万円（前年同四半期は経常利益259百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失147百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益169百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 住設・建材EC事業

住設・建材EC事業におきましては、リピート購入回数の増加と購入単価の上昇により前年同期比で増収となりました。為替の影響や利益率の高いカテゴリ商品の売上が伸び悩んだことによる粗利率の低下に加え、社名変更に伴うTVCMなどの広告宣伝集中投下などにより販管費が増加し、前年同期比で減益となりましたが、社名変更による影響については計画に織り込み済みのため、売上、利益の進捗は想定どおりとなっております。また、ウェブサイトへの総流入数がドメイン移管の影響などにより減少していますが、新社名「ミラタップ」での検索ボリュームは順調に増加しており、下期でのさらなる流入増加に向け、継続的なSEO対策などにより検索順位の早期改善を図っております。

以上の結果、売上高3,654百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益16百万円（前年同期比96.1%減）となりました。

② 住宅事業

住宅事業におきましては、厳しい市況が継続する中、間取りや収納など仕様の見直しや平屋物件の導入といった収益改善に取り組んでおり、魅力的な物件を提供することで仕入から販売までの日数を短縮するなど、滞留在庫の抑制に努めております。また、2024年12月にはSUVACO株式会社より、同社が運営するSUVACO事業及びリノベリす事業を譲り受けました。これらの事業では、住宅事例やイベント・記事などを通して住まいの専門家を見つけられるサイトを運営しており、サイトの登録会員である建築家や工務店などの専門家との繋がりを強化することで、既存サービスであるASOLIEや住設・建材EC事業とのシナジーの創出に取り組んでおります。

以上の結果、売上高503百万円（前年同期比23.7%増）、セグメント損失10百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ829百万円増加し、10,186百万円となりました。その主な要因は、建物及び構築物（純額）の増加665百万円、差入保証金の増加101百万円、繰延税金資産の増加46百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,147百万円増加し、6,929百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加1,000百万円、前受金の増加83百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、3,256百万円となりました。その主な要因は、新株予約権の増加13百万円があった一方で、利益剰余金の減少332百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月14日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,042,844	2,065,343
売掛金	882,501	999,342
棚卸資産	3,050,354	3,138,746
その他	264,423	280,574
貸倒引当金	△28,703	△21,203
流動資産合計	6,211,420	6,462,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	927,565	1,592,679
土地	65,328	65,328
建設仮勘定	315,848	33,171
その他(純額)	66,053	104,597
有形固定資産合計	1,374,794	1,795,777
無形固定資産		
ソフトウェア	112,800	128,898
その他	81,211	89,063
無形固定資産合計	194,011	217,962
投資その他の資産		
投資有価証券	328,347	329,640
関係会社株式	28,871	28,871
長期前払費用	540,348	524,703
差入保証金	460,847	561,933
繰延税金資産	198,646	244,674
その他	20,337	20,344
投資その他の資産合計	1,577,399	1,710,167
固定資産合計	3,146,205	3,723,907
資産合計	9,357,625	10,186,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,049,326	1,055,631
前受金	339,776	423,478
短期借入金	2,400,000	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	185,484	185,233
未払法人税等	83,821	5,143
契約負債	23,205	24,077
工事損失引当金	—	135
賞与引当金	127,144	57,250
資産除去債務	61,816	61,831
その他	663,338	632,605
流動負債合計	4,933,914	5,845,386
固定負債		
長期借入金	543,679	496,695
資産除去債務	298,515	581,971
その他	6,570	5,895
固定負債合計	848,764	1,084,561
負債合計	5,782,679	6,929,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,281	817,281
資本剰余金	767,281	767,281
利益剰余金	2,222,703	1,889,773
自己株式	△374,494	△374,494
株主資本合計	3,432,771	3,099,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,264	7,161
その他の包括利益累計額合計	6,264	7,161
新株予約権	135,911	149,761
純資産合計	3,574,946	3,256,763
負債純資産合計	9,357,625	10,186,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,023,408	4,156,388
売上原価	2,582,370	2,735,260
売上総利益	1,441,037	1,421,128
販売費及び一般管理費	1,175,500	1,626,137
営業利益又は営業損失(△)	265,537	△205,009
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	12
為替差益	—	15,242
補助金収入	372	62
固定資産受贈益	—	10,687
貸倒引当金戻入額	—	7,500
その他	175	231
営業外収益合計	550	33,737
営業外費用		
支払利息	5,240	5,913
支払手数料	555	529
貸倒損失	—	15,000
その他	776	—
営業外費用合計	6,572	21,443
経常利益又は経常損失(△)	259,514	△192,715
特別利益		
固定資産売却益	213	1,401
特別利益合計	213	1,401
特別損失		
固定資産売却損	—	112
固定資産除却損	0	346
関係会社清算損	2,480	—
特別損失合計	2,480	459
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	257,247	△191,773
法人税、住民税及び事業税	7,100	1,975
法人税等調整額	80,314	△46,423
法人税等合計	87,414	△44,447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	169,832	△147,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	169,832	△147,325

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	169,832	△147,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,318	897
その他の包括利益合計	△2,318	897
四半期包括利益	167,514	△146,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,514	△146,428
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期会計基準の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取り扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取り扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	37,619千円	40,359千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,618,627	384,592	4,003,220	—	4,003,220
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	19,212	19,212	—	19,212
顧客との契約から生じる収益	3,618,627	403,805	4,022,432	—	4,022,432
その他の収益	—	975	975	—	975
外部顧客への売上高	3,618,627	404,781	4,023,408	—	4,023,408
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,027	2,297	5,324	△5,324	—
計	3,621,654	407,078	4,028,732	△5,324	4,023,408
セグメント利益又は損失(△)	439,844	△14,428	425,415	△159,877	265,537

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159,877千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,652,998	484,003	4,137,002	—	4,137,002
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	18,186	18,186	—	18,186
顧客との契約から生じる収益	3,652,998	502,190	4,155,188	—	4,155,188
その他の収益	—	1,200	1,200	—	1,200
外部顧客への売上高	3,652,998	503,390	4,156,388	—	4,156,388
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,111	—	1,111	△1,111	—
計	3,654,109	503,390	4,157,499	△1,111	4,156,388
セグメント利益又は損失(△)	16,988	△10,712	6,276	△211,285	△205,009

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△211,285千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等の注記)に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。